

市民との意見交換会・報告書（鶴城地区）

開催地区：鶴城地区	開催日時：令和4年5月14日（土）	17時00分 ～ 18時30分
担当班：第4班（出席議員）目黒章三郎、渡部 認、大竹俊哉、奥脇康夫、高橋義人		
開催場所：鶴城コミュニティセンター		
参加人数：男性 12名、女性 2名、合計 14名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）		
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など		
1. 意見交換の総括		
(1) 議会報告、市政全般についての総括		
スーパーシティ、スマートシティに関する質疑応答が交わされたが、市民の認知度が低いという共通認識に至った。		
(2) 地区別テーマについての総括		
① 地区別テーマ		
「城前団地について」「旧県立病院跡地利活用について」の意見が多く出された。地区の大きなテーマであり、特に旧県立病院跡地利活用については、具体的な要望も含め、多くの意見が出された。		
② テーマ設定の理由、背景		
鶴城地区内の大きなテーマであり、地区住民の方々から大きな関心があったため。		
③ 主な地域課題		
城前住宅整備や、旧県立病院跡地利活用についても、地域の方々の理解が進んでいないことが明らかになった。執行部からの説明や周知が不十分であったのではないかと考える。		

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済
 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
スーパーシティやスマートシティ、言葉の意味が分からない。まず何を行っていくのか。	スーパーシティ構想は採択されなかったが、現在、本市はデジタル田園都市国家構想に向けて準備している。デジタル田園都市国家構想とは、デジタルで便利で暮らしやすい社会を作るといような政策である。そのような社会を作ることによって人口減少対策を行っていく政策である。	○	①		まちづくり
議会広報紙を読むとスマートシティは認知度が90%以上あるように記載されているが、本当に市民に認知されているのか。市議会議員はどのように思っているか。 市民との意見交換会もICT機器を使ってやることもできるのではないか。	確かに横文字が多く、私たち議員も市民の方には伝わりにくいと考えている。 市民との意見交換会はコロナ禍で開催できない時期もあった。非対面での実施を含め、ICT機器を使った意見交換会の開催方法を検討することは大事である。今後、実施可能か、引き続き研究していきたいと考えている。	○	①		まちづくり
議場にはWi-Fiがあると思うが、鶴城コミセンにはWi-Fiが整備されていない。意見交換会に自宅からでも参加できるよう、ぜひICT化を進め、意見交換会を行ってもらえるとありがたい。	貴重なご意見として伺う。重要な課題であると考える。	●	②		意見交換会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 城前団地について。県立病院跡地利活用について。

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
旧県立病院跡地に子どもの遊び場を整備すると聞いたが、ニーズ調査はどのように行っているのか。計画されたのはコロナが蔓延する前かと思う。子どもの遊び場は、感染症が広がれば利用する人もいなくなるのではないか？本当に必要なのか。	平成29年8月から市民提案を募集したり、利活用懇談会等を開いて、現在の構想に至った。感染症が広がればどのような施設も使えなくなるので、子どもの施設に限ったことではないと考える。	○	①	
人口が減り、子どもが減るのに子どもの施設が必要なのか。20年後、30年後を考えて計画してほしい。	郡山のペップキッズや喜多方市のめぐぶらざも非常に稼働率がいい。人口減少対策の観点からも必要なものであると考える。旧県立病院跡地には子どもの遊び場だけでなく、世代間の交流、健康の維持を目的とした複合的な施設ができると考えている。 利活用の方針について、地域の方からぜひいろいろな意見を出していただきたい。	○	①	
旧県立病院の跡地の整備は民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法PFI方式で行っていくと思うが、商業的に採算の取れない施設にならないか。	市はPFI方式の活用を考え、既に民間事業者からヒアリングも実施しているようだが、運営について注視している。	○	①	
どのような施設にしていくかについて、地元の企業、外部の企業との意見を聞くことが必要ではないか。一度計画をゼロにし、プロジェクトチームを作り、企業などの声も聞きながら計画を作り直していくべきかと考える。	もっともなご意見として伺う。	○	②	
どこにでもある施設を作るのではなく、会津ならではの施設、スマートシティに関連した施設を検討すべきではないか。	ご意見として伺う。	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 城前団地について。県立病院跡地利活用について。

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
市民に対する施設なのか、観光客に向けた施設なのか分からない。 市民の為の施設を検討してほしい。今後、市民の意見を聞き、女性や高校生中学生の意見も聞いてほしい。	5月21日と28日に市のワークショップが開催されますので、ぜひ参加してご意見を出していただきました。	○	①	
鶴城地区には老朽化し危険だと思える施設が多くある。鶴ヶ城体育館など、屋根が落ちそう。市民プールも古くなっている。新しい施設を考える前に、既存の施設の維持についてどのように考えているのか。	執行部は古くなった施設の整備について、公共施設等総合管理計画を策定し、優先順位を付けて適正に維持管理していくとしている。なお、我々の班で後日現地調査を行いたい。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P6に記載)
旧県立病院跡地は無駄のない効果的な施設整備を行っていくべきかと考える。	ご意見として伺う。	○	②	
城前団地整備について、建物を分散して建てるのではなく、もっと集約して建設していくべきではないか。 また、市内には民間のアパートもあるわけで、市営住宅を建て続けていくことが必要なのか、ニーズがあるのか分からない。	この地は、建設物の高さ制限もあり、余裕のある建て方になったのではないかと。 市営住宅等を必要としている生活困窮者が市内にどれくらいいるのかを把握したうえで担当課で建設の計画を進めていると聞いている。既にお住まいの方のニーズもあり、また移転後は若い世代を含めた様々な方々の募集も今後行っていくと理解している。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 城前団地について。県立病院跡地利活用について。

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
市民の人口に対し、市営住宅の数が多すぎるのではないか。	高齢化が進み、市営住宅に対するニーズも変わってきているのではないかと思う。 市営住宅の建設に際し、人口動態やニーズ調査も行っていると聞いている。かつて城前住宅においても、改築前は600室近い戸数があったが、その都度計画を見直し、現時点においては300弱の戸数となるよう計画している。	○	①	
幹Ⅰ－11号線、北側の自転車専用道路で事故が多い。自転車道を逆走する自転車が多い。大きな事故が起きてしまうのではないか、心配である。	現地を確認し、後ほど報告したい。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P6に記載)
会津は文化遺産が多くあると考える。若松の文化遺産を全国にアピールしていくことを考えていくべきかと思う。例えば武士道。これは世界にアピールできるものではないだろうか。これを県立病院跡地に活かしたら、観光にも繋がっていくのではないかと考える。	ご意見として伺う。	○	②	
この意見交換会に子育て世帯、若い人にも是非参加してほしい。会津は有名な観光地であると思っている。会津に誇りをもって地元をよくしていきたい。	ご意見として伺う。	●	②	
小田山は年々、木々が無くなってしまっている。市は今後、小田山の管理をどのように考えているのか。	小田山は民地が多く占めており、市が単独で植樹を含めた直接的な維持管理を行うことはできない。ただし、ボランティア団体等への支援を行ってきた経過にある。	○	①	

市民との意見交換会・事後処理報告書

鶴城 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 鶴ヶ城体育館の現状について (P 4)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 鶴城地区には老朽化し危険だと思える施設が多くある。鶴ヶ城体育館など、屋根が落ちそう。市民プールも古くなっている。新しい施設を考える前に、既存の施設の維持についてどのように考えているのか。</p> <p>【事後処理結果】 現状を確認した結果、指摘の通りであった。鶴ヶ城体育館の危険と思われる箇所を当局に伝えた。なお、公共施設等総合管理計画の整合性をはかることも必要であるとの認識に至った。</p>	
<p>2. 幹 I - 11号線の自転車道の安全確保について (P 5)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 幹 I - 11号線、北側の自転車専用道路で事故が多い。自転車道を逆走する自転車が多い。大きな事故が起きてしまうのではないかと心配である。</p> <p>【事後処理結果】 建設部道路課に、市民が交通ルールを遵守するよう標識などの設置をお願いした。なお、危機管理課を通じて、会津若松警察署に交通安全指導を行ってもらおうよう、申し入れる。</p>	